

表1 副反応調査期間中の使用ワクチン一覧

ワクチン名	メーカー	商品名	使用ワクチンロット番号	
DT	武田薬品工業	沈降ジフテリア破傷風トキソイド	N048A	N050
破傷風	アステラス製薬	沈降破傷風トキソイド	66 68	67
ポリオ	日本ポリオ研究所	経口生ポリオワクチン	43	44
麻疹	武田薬品工業	乾燥弱毒生麻しんワクチン	F205	F206
ムンプス	第一製薬	乾燥弱毒生おたふくかぜワクチン	K05-9 K05-11	K05-10
風疹	田製製薬	乾燥弱毒生風しんワクチン	R1003	R1005
日本脳炎	武田薬品工業	日本脳炎ワクチン	X007B X010D	X008A X011A
A型肝炎	アステラス製薬	エイムゲン	HA11	HA12
B型肝炎	アステラス製薬	ビームゲン	Y40B Y41B	Y41C Y42B
インフルエンザ*	北里研究所	インフルエンザHAワクチン「北研」	HA052B HA054D HA061A	HA053D HA059A
狂犬病	アステラス製薬	狂犬病ワクチン	1602 1701	1603

表2 ワクチンの種類別接種数

ワクチン	単独	同時	合計
破傷風トキソイド	135	492	627
DT	1	0	1
A型肝炎	26	487	513
B型肝炎	30	205	235
狂犬病	21	212	233
日本脳炎	58	165	223
インフルエンザ	12	65	77
コレラ	0	6	6
麻疹	2	0	2
風疹	1	1	2
ムンプス	0	1	1
ポリオ	0	2	2
合計	286	1636	1922

表3 性別・年齢別の対象者数と接種数

対象件数

	16～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	合計
男	7	97	250	197	75	6	632
女	9	49	240	111	61	2	472
合計	16	146	490	308	136	8	1104

接種数ワクチン数(調査対象となった延べ接種回数)

	16～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	合計
男	10	168	462	350	136	10	1136
女	12	85	394	185	107	3	786
合計	22	253	856	535	243	13	1922

表4 全身副反応のまとめ

接種数	分類番号	接種ワクチン種類	件数	副反応なし	副反応有り		副反応内訳(件数:重複例あり)											
					症例(人)	%	発熱	熱感	悪寒	発疹	倦怠	頭痛	めまい	嘔気	その他	合計	(%)	
単独接種	1-1	破傷風	135	132	3	2.2	1	1								1	3	2.2
	1-2	A型肝炎	26	26	0	0.0												0.0
	1-3	B型肝炎	30	30	0	0.0												0.0
	1-4	狂犬病	21	20	1	4.8						1				1	2	9.5
	1-5	日本脳炎	58	58	0	0.0												0.0
	1-6	インフルエンザ	12	11	1	8.3			1							1	2	16.7
	1-7	その他	4	4	0	0.0												0.0
		合計		286	281	5	1.7	1	1	1	0	0	1	0	0	3	7	2.4
同時接種 (2種類)	2-1	破傷風 A型肝炎	399	376	23	5.8	3	1				16	2	1	3	3	29	7.3
	2-2	破傷風 B型肝炎	11	11	0	0.0												0.0
	2-3	破傷風 狂犬病	20	19	1	5.0				1						1	5.0	
	2-4	破傷風 日本脳炎	32	30	2	6.3		1							1	2	6.3	
	2-5	破傷風 インフルエンザ	30	29	1	3.3									1	1	3.3	
	2-6	A型肝炎 B型肝炎	15	14	1	6.7					1					1	6.7	
	2-7	A型肝炎 狂犬病	10	10	0	0.0										0	0.0	
	2-8	A型肝炎 日本脳炎	46	43	3	6.5					3				1	4	8.7	
	2-9	A型肝炎 インフルエンザ	12	10	2	16.7	2				1				1	4	33.3	
	2-10	B型肝炎 狂犬病	138	134	4	2.9				1	2			1		4	2.9	
	2-11	B型肝炎 日本脳炎	31	30	1	3.2					1					1	3.2	
	2-12	狂犬病 日本脳炎	41	39	2	4.9					2					2	4.9	
	2-13	日本脳炎 インフルエンザ	14	14	0	0.0										0	0.0	
	2-14	その他の組み合わせ	19	18	1	5.3	1									1	5.3	
	合計		818	777	41	5.0	6	2		2	26	2	1	4	7	50	6.1	
	総合計		1104	1058	46	4.2	7	3	1	2	26	3	1	4	9	57	5.2	

表5 局所副反応のまとめ

接種方法	例数	局所副反応の有無	
		なし	有り
単独接種	286	218	68
同時接種	1636	1342	294
合計	1922	1560	362
			(%)
			23.8
			18.0
			18.8

表6 ワクチン別局所副反応(単独接種+同時接種)

ワクチン	局所副反応の有無		個別局所副反応																												
	なし	有り (%)	発赤				腫脹				疼痛				痒み				その他												
			軽	中	重	不計 (%)	軽	中	重	不計 (%)	弱	強	不計 (%)	弱	強	不計 (%)	弱	強	不計 (%)												
破傷風	627	462	165	26.3	35	10	0	7	52	8.3	88	17	5	12	122	19.5	55	3	2	60	9.6	57	13	5	75	12.0	4	0	1	5	0.8
A型肝炎	513	479	34	6.6	7	1	1	1	10	1.9	11	2	1	0	14	2.7	14	0	0	14	2.7	10	2	1	13	2.5	3	0	0	3	0.6
B型肝炎	235	203	32	13.6	5	0	0	2	7	3.0	6	0	0	2	8	3.4	22	1	2	25	10.6	2	0	0	2	0.9	1	0	0	1	0.4
狂犬病	233	160	73	31.3	21	7	1	1	30	12.9	18	5	1	6	30	12.9	31	4	5	40	17.2	23	4	3	30	12.9	4	0	0	4	1.7
日本脳炎	223	193	30	13.5	3	3	0	1	7	3.1	4	6	0	6	16	7.2	11	1	1	13	5.8	6	3	0	9	4.0	2	0	2	0.9	
インフルエンザ	77	51	26	33.8	4	2	1	1	8	10.4	10	4	2	3	19	24.7	11	1	1	13	16.9	4	0	2	6	7.8	0	0	0	0	0.0

注:各副反応の重症度は以下の通りとした(表中の軽、中、重、不明はそれぞれ軽度、中等度、重度、重症度不明を示す)

	軽度	中等度	重度
発赤	長径<5cm	長径5cm~10cm未満	長径≥10cm
腫脹	長径<5cm	長径5cm~10cm未満	長径≥10cm
疼痛	弱い	強い	
痒み	弱い	強い	
その他	治療を要しなかった	治療し後遺症なし	後遺症あり

表7 ワクチン別局所副反応(単独接種+同時接種)の総合重症度評価

ワクチン	例数	局所反応の有無			局所副反応の総合評価					
		なし	有り		軽	中	重	不	計	(%)
			数	(%)						
破傷風	627	462	165	26.3	116	34	5	10	165	26.3
A型肝炎	513	479	34	6.6	30	3	1	0	34	6.6
B型肝炎	235	203	32	13.6	27	1	0	4	32	13.6
狂犬病	233	160	73	31.3	53	11	1	8	73	31.3
日本脳炎	223	193	30	13.5	15	10	0	5	30	13.5
インフルエンザ	77	51	26	33.8	14	6	2	4	26	33.8
合計	1908	1548	360	18.9	255	65	9	31	360	(18.9%)

注:局所副反応の総合評価は、単独の症状の場合はその重症度とし、複数の局所副反応はある場合にはその中での最も重症度の高いものとした。

研究成果の刊行に関する一覧表

書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
中野貴司	髄膜炎菌	日本小児感染症学会	日常診療に役立つ小児感染症マニュアル 2007	東京医学社	東京	2006	207-216
中野貴司	海外渡航者の予防接種、現状と課題	教育医事新聞社	教育医事新聞	教育医事新聞社	東京	2006	267

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
尾内一信	日本におけるトラベルメディスンの新たな展開 研究面での展開 トラベラーズワクチンフォーラムと海外渡航者の予防接種のあり方に関する研究	海外勤務と健康	24	6-8	2006
尾内一信	海外渡航者と未認可ワクチンの現状と今後	日本医事新報	4298	89	2006
庵原俊昭	予防接種の留意点	クリニカルプラクティス	25	192-195	2006
庵原俊昭	小児感染症の基本的考え方	日本小児皮膚科学会雑誌	25	27-30	2006
庵原俊昭、他	各県・政令都市における予防接種センターの設置とトラベルワクチンへの取り組み	第10回日本ワクチン学会	10	21-22	2006
水野泰孝、 金川修造、他	中国渡航前健康診断の現状	人間ドック	21	872-875	2006

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Mizuno Y, Kanagawa S, et al	Simultaneous vaccination in Japanese travelers	Travel Medicine and Infectious Diseases	5	85-89	2007
水野泰孝、 狩野繁之	海外渡航時に接種すべ きワクチン	日本臨床	増刊2	639-643	2007/03/28
中野貴司	小児感染症と国際保 健、国際医療協力.	日本小児科学会 雑誌	110	503-510	2006
Komase K, Nakayama T, et al	The phosphoprotein of attenuated measles AIK-C vaccine strain contributes to its temperature-sensitiv	Vaccine	24	826-834	2006
Uejima H, Nakayama T, et al	Passage in Vero cells alters the characteristics of measles AIK-C vaccine strain.	Vaccine	24	931-936	2006
Kamada M, Nagai T, Nakayama T, et al	A comparative study of the incidence of aseptic meningitis in symptomatic natural mumps patients and monovalent mumps vaccine recipients in	Vaccine			in press
濱田篤郎	海外派遣社員の健康管 理	日本医事新報	4318	41-45	2007
濱田篤郎	ワクチンの副反応、臨 床対応、補償	日本医事新報			印刷中
渡邊 浩、 土橋佳子	抗菌化学療法：診断と 治療の進歩。Ⅲ. 臓器 感染症の特性と抗菌化 学療法。3. 髄膜炎	日本内科学会雑 誌	95	2232-2237	2006